

令和4年度第1回知立市総合教育会議議事録

審 議 日 時	令和4年5月19日(木) 13:15 ~ 14:45			
審 議 場 所	知立市役所 4階 第5会議室			
出 席 者	市 長	教 育 長	蔭山委員	竹内委員
	宇納委員	伊藤委員		
事 務 局	企画部長 教育部長 企画政策課長 教育庶務課長 学校教育課主幹 企画政策課地方創生 SDGs 係長・担当			
議 題	(1) 学校における情報教育の進捗と今後の展望について (GIGA スクール構想) (2) その他			
企画部長	<p>定刻になりましたので、只今より、「令和4年度第1回知立市総合教育会議」をはじめます。</p> <p>本日の議題は、「学校における情報教育の進捗と今後の展望について (GIGA スクール構想)」です。議事の取り回しは、知立市総合教育会議設置要綱第4条第1項において、市長が議長となり議事を総理するとありますので、市長にお願いします。よろしくをお願いします。</p>			
議長 (市長)	<p>本日は、ご多用の中お越しいただきありがとうございます。</p> <p>本日の議題は、「学校における情報教育の進捗と今後の展望について (GIGA スクール構想)」です。本市では GIGA スクール構想を推進しており、1人1台タブレットを配置しております。私自身、どのような状況なのか関心があり、取り上げさせていただきました。</p> <p>それでは、担当課より議題についてご説明願います。</p>			
学校教育課主幹	(学校における情報教育の進捗と今後の展望について、資料に沿って説明)			
議長 (市長)	<p>ありがとうございます。委員の皆様から順番にご意見をいただけたらと思います。伊藤委員、いかがでしょうか。</p>			
伊藤委員	<p>この場ではなく各学校へお願いすることかもしれませんが、子どもがタブレットを持ち帰る時に、教科書類を学校へ置いて荷物を減らしていただけたらと思います。タブレットは重さがありますので、低学年の児童が教科書とともに持って帰ってくることはとても大変です。タブレットを持ち帰る時の宿題は、タブレットのみで完結するものにしていただくよう配慮をお願いできればと思います。</p>			
議長 (市長)	<p>タブレットの持ち帰りは毎日ですか。</p>			
伊藤委員	<p>コロナの感染状況を見て、いつ休校になってもいいように、念のため持ち帰る時期がありました。</p>			

議長（市長）	それは今も続いていますか。
伊藤委員	今は持ち帰っていませんが、1 か月に1 度くらいの頻度で持ち帰り訓練があり、家庭でも問題なく繋がるかを確認しています。
議長（市長）	コロナ禍の中、何かあった時のために持ち帰りをしているとのことですね。これは全小中学校で行っていますか。
学校教育課主幹	全校が常に行っている状況ではありませんが、学級閉鎖や臨時休校になりそうな状況がみられる際には、持ち帰りをしています。
議長（市長）	家庭へ持ち帰って学習をしていただくこともあるかと思いますが、感想があれば教えてください。
伊藤委員	タブレットを使っている様子を見ていると、プログラミング等、大人が分からないことを一人でスイスイとできているように思います。学校でタブレットを使っている様子を見た時には、低学年の児童でも上手に使えていると分かり、感心しました。
議長（市長）	授業でもスムーズに使えて、集中できているような印象ですか。
伊藤委員	そうですね。前向きに取り組んでいる印象です。
議長（市長）	ありがとうございます。 蔭山委員、いかがでしょうか。
蔭山委員	個人的には、GIGA スクール構想の全てに賛成しているわけではありません。自分自身をふりかえてみると、大学で学習心理学を学んでいた時、ティーチングマシーンというものが心理学のテーマになったことがありました。GIGA スクール構想を見ていると、その時を思い出します。ティーチングマシーンは、教師以外が物事を教えるという夢のようなもので、アメリカでは急速に浸透しました。それを受け入れる人もいれば、そのようなものに対して異議を唱える人もいます。GIGA スクール構想でもそうですが、そのような意見も尊重すべきかと思います。 タブレットは学習に焦点を当てるツールではありますが、学校教育は学習だけではありません。これまでの指導方法と変わることで、質が落ちてしまうものがあるのではないかと考えます。例えば、先ほど、「授業で手を上げずに、タブレットで回答することで意見をみんなと共有できる」とご説明がありましたが、それで本当にいいのだろうか、手をあげて自己主張ができない子どもが増えるのではないかと考えてしまいます。心理学者からすると、人間関係というのは小中学校で培うもので

	<p>あると考えます。人間関係の形成や克服がタブレットでできるものなのか、タブレットに頼りきりになってしまうのではないかと考えると恐ろしいです。そういうものに注意していかないといけないのではないのでしょうか。アンケート結果で、授業ではあまり使わないと答える先生が少数いらっしゃいますが、僕が思っているようなことを気にしているのではないかと思います。数名の先生が気にかけている、そこに耳を傾けてほしいと思います。人間関係は仲間同士でぶつかりあいながら醸成されるものであり、タブレットによる青年の育成に影響が無いように配慮が必要です。</p>
議長（市長）	<p>ありがとうございます。 竹内委員、いかがでしょうか。</p>
竹内委員	<p>GIGA スクール構想が浸透してきて、便利な時代になったと改めて思います。気になることとして、持ち帰ったときにゲームをする、友達とメールをするというような、学校側が管理しづらいところが出てくることです。タブレットを使った仲間外れやいじめが発生する可能性もあり、一人が追い詰められてしまうようなことのないように、チェック機能の体制が必要かと考えます。それができないと GIGA スクール構想の全てに万歳とは言えないと思います。</p> <p>黒板のみで授業をするという時代ではなくなってきており、先生のレベルアップも必要で、全体の底上げをしないことには指導に差ができてしまうかもしれません。アンケートで「ほとんどできない」を選んだ先生が、本当にできないのか、心の中でまだまだ足りないと思っているのか、先生のお考えが分かりません。先生のレベルについてもチェックが必要かと思えます。</p>
議長（市長）	<p>ありがとうございます。ゲームやメール等はできないように設定しているかと思いますが、どうですか。</p>
学校教育課主幹	<p>そのとおりです。使用できないように設定しています。</p>
議長（市長）	<p>先生方のタブレット指導については、得意な先生によるサポートや、ICT 支援員によるご指導、教育委員会の研修等を通して、全体のレベルアップを進めています。 宇納委員、いかがでしょうか。</p>
宇納委員	<p>4年生の視力低下が全国平均を上回っているとの結果を見たことがあり、それに対してどう対処するか、検討が必要かと思えます。30分経ったら目を休めましょうというような注意点を周知していただいておりますが、現場でも先生の声かけにより、きめ細かく指導をしてもらえたらと思います。以前、富山の学校を視察した際、先生が低学年の児童へ姿勢を正すよう呼びかけており、みんなが正してから授業を始めていました。これは、日々の積み重ねが重要で、先生の指導で改善できることか</p>

	<p>と思います。大学の先生へコロナ禍でどのように授業をしているのかを尋ねた時には、ICT を活用した指導方法を研究し、発表しようと考えていると教えてくれました。コロナ禍における授業形式についても、ロイロノートに限らず、先生たちが自ら工夫することが可能かと考えますので、お願いしたいです。</p> <p>アンケート結果のうち、利用が少ない教科に生活科、美術、保健体育等が挙げられています。これらは身体を使う教科であるものの、内容によるかと思いますが、授業でタブレットを活用できると良いと思います。自分で動画を撮って、分析や比較をすることができ、教科書を見るよりも理解が深まるのではと思います。ただ、孫の様子を見ていると、タブレットで調べ物をするとき、閲覧ができないサイトを見かけます。どのようなサイトが閲覧できないのか、先生たちも把握をしておく調べる学習で効率が良くなるのではないかと思います。</p> <p>先ほど、ロイロノートを活用して発表するとき、児童生徒の意見が画面で共有されるとのご説明がありました。授業参観で様子を見ていて、手を挙げるができる児童生徒が優先されてしまい、苦手な子にスポットが当たりづらいのではないかと感じることがありました。ロイロノートを活用することで、苦手な子の意見も共有され、同じようにスポットが当たるのではないかと思いますので、賛成です。</p> <p>蔭山先生がおっしゃる通り、人間関係は体験が重要だと考えます。授業も同様で、書道の時間であれば、紙に毛筆で書く時の筆圧だとか、体験によって知ることたくさんあると思います。美術の分野でいうと、生徒を連れて名画を観に行った時、本物を見ることで感動しているのが分かります。音楽でもそうですが、実際に体験することが重要なのだと感じました。タブレットのみならず、そのような体験学習についても精査してほしいと思います。</p> <p>GIGA スクール構想については、やっと地に足がついたと感じます。次年度以降も期待したいと思います。</p>
議長（市長）	<p>ありがとうございます。姿勢を正してから授業を始める、視力の低下等の健康面に対する配慮等、先生がタブレットで指導するときには徹底していただいていますでしょうか。</p>
学校教育課主幹	<p>日々、声掛けをしています。</p>
議長（市長）	<p>サイトの閲覧ができないことについて、もう一度お話しいただけますか。</p>
宇納委員	<p>調べ学習をするときに、サイトを閲覧することがあります。その際に、閲覧ができないサイトがあるようです。詳しく、どのようなサイトが閲覧できないのか知りたいと思います。</p>
議長（市長）	<p>学校側はフィルターをかけていないと認識していますが、どうですか。</p>

学校教育課主幹	そのとおりです。
議長（市長）	基準は分かりますか。
企画政策課長	基準はあると思いますが、業者の判断やルールがあつてのものだと思います。
宇納委員	キーボードの打ち方についても、速い、ゆっくりと個人差がありますので、学校で指導をしてもらえると良いと思います。私の教え子は、キーボードを見ずに打ち込むのでとても速いのですが、そういう学校に行かせたことがあります。将来的にも必要なスキルだと思います。
議長（市長）	キーボードを打つ技術を教えるのはどうですか。
学校教育課主幹	習うより慣れることが重要だと思います。
議長（市長）	教育長、いかがでしょうか。
教育長	委員の皆様、様々なご意見をいただきありがとうございます。 振り返ってみると、タブレットを配置して1年が経ち、技術を習得することは素晴らしいことであると感じています。活用にあたっては、健康面への配慮や委員の皆様からのご意見を踏まえながら、進めていきたいと思っています。 お配りした資料は、文部科学省の中央教育審議会初等中等教育分科会の教育課程部会で作られたものです。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をイメージ化したもので、学校教育が目指す方向性として見て頂ければと思います。 知立市では、「個別最適な学び」をタブレットの活用、指導の個別化やひとり学習、従来の対面的な学習を「協働的な学び」として捉えています。両方が一体的に充実することが重要で、新学習指導要領が目指すものです。タブレットは「個別最適な学び」に重心がありますが、「協働的な学び」においても活用し、一体的な授業づくりを目指していきたいと考えています。 今年度は、教務主任が中心となってタブレットをどのように有効活用するかを研究し、校務主任がハード面やフィルタリング・アクセスポイント等を研究しています。引き続き、学校全体で取り組んでいきたいと思っています。 私は、タブレットを活用することで、実際にはできないような体験ができると考えています。救急法や避難・災害時対応、身体づくりの詳細を調べることができる等、将来的にできると良いと考えていますが、実際には体験できないところを ICT で経験することで、身の安全を守る教育に役立つのではないかと考えています。
議長（市長）	資料では、スポーツやグループ学習等のイラストが掲載されています。人間関係づくりも、そういうところできるといいことですね。

教育長	<p>児童生徒同士の関わりが無くなるわけではなく、自分たちが考えて、まとめる。そういうもので、人間関係づくりは残っていきます。</p>
議長（市長）	<p>知立市は、総合計画やまちづくり基本条例、子ども条例等を策定しています。教育に関わる予算は、財政状況を見ながらしっかりと考えていきたいので、遠慮なくあげてほしいと思います。</p> <p>今年度は、猿渡小学校をモデル校として水泳授業を民間に委託しています。メリットは、先生の働き方改革だけでなく、児童生徒がプロの指導者から教えてもらえること、先生方も指導方法を身につけていただくことができることにあります。</p>
竹内委員	<p>猿渡小学校と他の学校で差ができてしまいませんか。民間の施設まで距離があり、実施が難しい学校もあるかもしれません。一方の学校は温水で泳ぎやすいが、他の学校はそうではない等、できれば平等にしてほしいと思います。</p>
議長（市長）	<p>将来的には、民間指導者へ委ねていきたいと考えていますが、資源のキャパシティー等も考慮して、モデル的に実施しています。猿渡小学校は、魅力ある学校設計事業で独自に民間委託を実施されていました。一定の効果があるとのことをご意見をいただいて、実際に予算を設けることとしました。成果があれば、猿渡小学校以外の学校にも展開できればと思います。各学校には特色があり、校長先生に委ねている部分もあります。学校単位でみると、猿渡小学校では水泳授業、知立東小学校では多文化教育等、平等・不平等を感じられる部分もあるかもしれませんが、全体で見れば頂ければと思います。</p>
蔭山委員	<p>これまでの日本の歴史として、教育は平等が原則であると思います。この歴史のなかで、学校にカラーをもたせていくことを可能とするのか、どこの学校も同じようにしていくのか、その判断はとても勇気がいることだと思います。みんなが右にならえをしなくて良いとするのは、私は大事だと思います。</p>
議長（市長）	<p>市として、カラーを出していくことを押しているわけではありませんが、学校へ様々な要望があるなか、苦勞されながら取り組んでいただいています。教育の方針をもとに、校長先生へお任せしていることもあります。</p>
蔭山委員	<p>カラーを出すことがいけないことではありません。教育の歴史から見ると革命的であると考えます。</p>
教育長	<p>教育の目標は一緒です。学校によって手段が異なるだけであり、地域の特色を活かして、地域の方と一緒に生き物学習をする学校もあれば、地域の歴史や文化の学習をする学校もあります。地域・環境の中でどのように学んでいくか、指導者と学ぶ側の人間関係をどう築いていくかが大切です。猿渡小学校の水泳授業では、学級</p>

	<p>担任も一緒に学びます。市内の先生にも指導法を広めていきたいと考えています。</p>
宇納委員	<p>先進的なものに対する研修や派遣制度があると良いと思います。私が教育委員になって良かったと感じたことは、先進的な事例を見ることができたことです。自分の専門分野以外のものについても学ぶものがたくさんあると感じます。</p>
教育長	<p>県外・県内へ数名ずつ、研究したいことがある先生に参加していただいています。</p>
宇納委員	<p>希望者はどれくらいいるのですか。</p>
学校教育課主幹	<p>毎年、数名ずついらっしゃいます。</p>
議長（市長）	<p>それでは、「学校における情報教育の進捗と今後の展望について（GIGA スクール構想）」は以上とさせていただきます。</p> <p>議題の二つ目は「その他」ですが、何かご意見はありますか。</p> <p>特にご意見等はないようですので、最後に事務局より連絡をお願いします。</p>
企画部長	<p>次回の総合教育会議は令和5年2月8日（水）午後1時15分から市役所4階第4会議室にて開催します。開催日が近付きましたら別途開催通知にてお知らせいたします。その他、随時緊急を要する議題が発生した場合は、総合教育会議設置の趣旨のとおり臨時的に開催をまいります。</p>
議長（市長）	<p>本日はどうもありがとうございました。</p> <p>（終了）</p>